

## は　じ　め　に

ここに『国際交流基金日本語教育紀要』第10号をお届けします。

本紀要には、国際交流基金の日本語教育事業に携わる国内の日本語教育専門員、海外の日本語専門家等が日々の教育・研究活動の中で取り組んできた問題や課題をまとめ、「研究論文」（研究成果に独創性がある、理論的・実証的論文）、「研究ノート」（教育、教材開発等の実施過程でまとめられた中間研究報告）、「実践報告」（教育、教材開発等の実践の目的、特色、経過、成果等について紹介、分析した報告）、「報告」（当基金が実施する事業に関する報告、海外の日本語教育関係機関の実践・視察に関する記録報告等）として執筆したものの中から、編集委員会による厳正な審査のもと、掲載論文を決定いたしました。

当基金といたしましては、読者の皆様から忌憚のないご意見やご感想をいただけましたら幸甚に存じます。

本紀要が、当基金の日本語教育事業をより深くご理解いただく一助となることを願っています。

2014年（平成26年）3月  
独立行政法人国際交流基金